

## 第5回 草津市地域公共交通活性化再生協議会 次 第

日時：平成23年3月23日（水） 11：00～

（公共交通会議終了後）

場所：草津市役所 2階特大会議室

1. 開 会

2. 挨拶 会長職務代理者 草津市地域公共交通会議 委員長 塚口 博司

3. 議 事

議第1号 平成23年度予算について

4 閉 会

議第1号 平成23年度予算について(案)

( 自 平成23年4月 1日  
至 平成24年3月31日 )

収 入

単位：千円

科 目			金 額	備 考
款	項	目		
1 負担金	1 負担金		0	
		1 負担金	0	
2 補助金	1 補助金		3,500	
		1 補助金	3,500	国土交通省補助金
3 繰越金	1 繰越金			
		1 繰越金	0	
4 借入金	1 借入金		1	
		1 借入金	1	市中銀行借入
5 諸収入	諸収入		2	
		1 寄付金	1	協賛金
		2 雑入	1	
計			3,503	

支 出

単位：千円

科 目			金 額	備 考
款	項	目		
1 運営費	1 事務費		2	
		1 会議費	1	
		2 事務費	1	
2 事業費	1 事業費		3,500	
		1 負担金	3,500	草津市への事業委託負担金(総事業費7,000千円:草津市負担3,500千円)
3 予備費	1 予備費		1	
		1 予備費	1	
計			3,503	

(別紙1)

<草津市地域公共交通活性化・再生総合事業計画 事業スケジュールの変更>

【変更後】

全体事業計画の事業スケジュール												
事業の名称	平成 22 年度				平成 23 年度				平成 24 年度			
	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月
コミュニティバス 実証運行	効果測定等調査				効果測定等調査				事業仕分けにより廃止			
					利用促進							
バスロケーション システム導入												
低床バス導入												
バス総合案内表示 の設置												
利用促進 (企業・住民モビ リティマネジメン ト実施等)												

【現行】

全体事業計画の事業スケジュール												
事業の名称	平成 22 年度				平成 23 年度				平成 24 年度			
	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月
コミュニティバス 実証運行	効果測定等調査				効果測定等調査				効果測定等調査			
バスロケーション システム導入					導入							
低床バス導入					小型ノンステップ 2 台				小型ノンステップ 2 台			
バス総合案内表示 の設置									設置			
利用促進 (企業・住民モビ リティマネジメン ト実施等)					実施・評価				実施・評価			

【変更後】

4-2. 2年度（平成23年度）事業計画			
(1) 事業計画の概要（目標）等			
事業の名称	事業の概要（目標）	実行主体	評価事項
コミュニティバス 実証運行 利用促進 <u>（企業・住民モビリティマネジメント実施等）</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存企業路線を含み、実証運行にかかるアンケート・OD調査を実施し、路線再編の検討を実施する。</li> <li>商店街との販促イベントの実施、南草津駅新快速停車とあわせてエコ通勤促進事業などを実施する。</li> </ul>	草津市 <u>大規模事業所</u> <u>立命館大学</u>	①空白地における公共交通の確保 ②誰もが移動しやすい公共交通の体系化 <u>⑩車から公共交通への利用促進（モビリティ・マネジメント）</u>
(2) 事業費等			
事業の名称	総事業費 （見込み）	国費 （見込み）	地域の負担 （見込み）
コミュニティバス 実証運行 利用促進 <u>（企業・住民モビリティマネジメント実施等）</u>	7,000 千円	3,500 千円	3,500 千円
小計	7,000 千円	3,500 千円	3,500 千円

【現行】

4-2. 2年度（平成23年度）事業計画			
(1) 事業計画の概要（目標）等			
事業の名称	事業の概要（目標）	実行主体	評価事項
コミュニティバス 実証運行	・既存企業路線を含み、実証運行にかかるアンケート・OD調査を実施し、路線再編の検討を実施する。	草津市	①空白地における公共交通の確保 ②誰もが移動しやすい公共交通の体系化
バスロケーションシステム導入	・携帯電話を利用したバスロケーションシステムを導入し、利便性向上と信頼性の回復を図る。	帝産湖南交通(株) 草津市	⑧バスの速達性・定時性の確保 ⑨既存バスの利用促進
低床バス導入	・現状15%の導入率を5年間で50%到達を目標に車両購入を実施する。	バス事業者	②誰もが移動しやすい公共交通の体系化 ③バスのバリアフリー化 ⑥ユニバーサルデザイン
利用促進 (企業・住民モビリティマネジメント実施等)	・商店街との販促イベントの実施、南草津駅新快速停車とあわせてエコ通勤促進事業などを実施する。	草津市 大規模事業所 立命館大学	⑩車から公共交通への利用促進(モビリティ・マネジメント)
(2) 事業費等			
事業の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
コミュニティバス 実証運行	7,000 千円	3,500 千円	3,500 千円
バスロケーションシステム導入	10,000 千円	5,000 千円	5,000 千円
低床バス導入	30,000 千円	15,000 千円	15,000 千円
利用促進	5,000 千円	2,500 千円	2,500 千円
<b>小計</b>	<b>52,000</b> 千円	<b>26,000</b> 千円	<b>26,000</b> 千円